

「日本人学生の海外留学状況」及び「外国人留学生の在籍状況調査」について

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1412692_00003.htm

記事ページ本文

現在位置

トップ

>

教育

>

国際教育

>

大学生等の留学生交流・国際交流の推進

>

留学生交流施策全般

> 「日本人学生の海外留学状況」及び「外国人留学生の在籍状況調査」について

「日本人学生の海外留学状況」及び「外国人留学生の在籍状況調査」について

令和8年5月29日

独立行政法人日本学生支援機構では、毎年、日本人学生の海外留学状況や外国人留学生の在籍状況の調査を行っており、最新の調査結果が取りまとめられましたので、お知らせします。また、文部科学省においてユネスコ統計局等による統計をもとに、日本人の海外留学者数を集計して、最新の状況を取りまとめましたので併せて公表します。

1.日本人学生の海外留学者数

(1)日本の大学等が把握する日本人留学者数(大学間交流協定に基づく留学等)[独立行政法人日本学生支援機構による調査]

独立行政法人日本学生支援機構が実施している「日本人学生留学状況調査」によると、大学等が把握している日本人学生の海外留学者数は、2024(令和6)年度で91,054人(対前年度比1,875人(2.1%)増)となり、前年度から増加しているものの増加率は鈍化しています。

その中で、留学期間別に見ると、1か月未満の短期留学は60,301人(対前年度比3,257人(5.7%)増)であり前年度から増加していますが、それ以外の期間別留学者数は減少しています。

留学者数の多い国・地域は、アメリカ合衆国12,627人(対前年度比890人(6.6%)減)、オーストラリア9,329人(対前年度比166人(1.8%)増)、韓国8,360人(対前年度比24人(0.3%)減)でした。また、地域別で見た場合、アジア諸国への留学者数が最も多く、36,904人(対前年度比2,401人(7.0%)増)となり、北米への留学者数は19,363人(対前年度比1,775人(8.4%)減)となりました。

(2)海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)[OECD等による統計]

ユネスコ、米国国際教育研究所(IIE)等の2023(令和5)年統計をもとに、海外の機関が把握している、日本人の海外留学者数(主に長期留学)を文部科学省が集計したところ、50,139人(対前年度比1,148人(2.3%)増)となりました。

留学者数の多い国・地域は、アメリカ合衆国13,959人(対前年度比2,095人(13.0%)減)、台湾9,888人(対前年度比2,565人(35.0%)増)、中国6,140人(対前年度比938人(13.3%)減)でした。前年度に引き続き、アメリカ合衆国、英国、オーストラリア等の英語圏や、東アジア圏への留学者数が上位となっています。

(注1)国・地域については、ユネスコ統計局による統計やInstitute of International Education (IIE)「Open Doors」等、各国等が発表している数値をもとにしており、調査時点や調査対象は、国・地域によって異なります。

また、受入れ国の特定の日または特定の期間の在学者情報から収集したものであり、留学期間が1年に満たない学生や在学を必要としない交換留学プログラムに参加する学生で計上されていない者がい

ることに留意する必要があります。

(注2) 2012年統計までは、外国人学生(受入れ国の国籍を持たない学生)が対象だったが、2013年統計より、高等教育機関に在籍する外国人留学生(勉学を目的として前居住国・出身国から他の国に移り住んだ学生)が対象となったため、比較ができなくなっていることに留意する必要があります。

(注3) 2022年統計まではOECD統計を出典に含め留学者数を集計していたが、2023年統計からOECD加盟国における国別留学生数が非公表扱いに変更されたため、出典とはしていないことに留意する必要があります。

2.外国人留学生数

独立行政法人日本学生支援機構が実施している「外国人留学生在籍状況調査」によると、2025(令和7)年5月1日現在の外国人留学生数は408,069人(対前年度比71,361人(21.2%)増)となり、前年度に引き続き過去最大となりました。

在学段階別に見ると、すべての学校種において外国人留学生数が増加しているところ、特に専修学校(専門課程)と日本語教育機関において大幅に増加しました。

- ・大学(大学院、短大を含む)は156,593人(対前年度比7,692人(5.2%)増)
- ・高等専門学校は527人(対前年度比21人(4.2%)増)
- ・準備教育課程は3,946人(対前年度比288人(7.9%)増)
- ・専修学校(専門課程)は106,829人(対前年度比30,427人(39.8%)増)
- ・日本語教育機関は140,174人(対前年度比32,933人(30.7%)増)

主な出身国(地域)別に見ると、中国131,097人(対前年度比7,612人(6.2%)増)、ネパール100,239人(対前年度比35,423人(54.7%)増)、ベトナム43,366人(対前年度比3,043人(7.5%)増)となっており、特に南西アジア圏(ネパール、ミャンマー、スリランカ、バングラデシュ)からの受入れ数が大幅な増加となりました。

文部科学省としては、大学(大学院、短大を含む)及び高等専門学校における外国人留学生の受入れについては、経済安全保障の観点に留意した上で、G7やASEAN等の重点地域からの誘致等に取り組むとともに、今後、我が国の大学の国際競争力の強化を行いつつ、在籍管理の一層の徹底等を通じて「質の向上」を図る視点を重視し、多様で優秀な留学生の確保に努めてまいります。

また、専修学校(専門課程)における外国人留学生の急増にも適切に対応できるよう、所轄庁である都道府県と連携し、教育の質の向上や在籍管理のより一層の徹底など、必要な取組を行ってまいります。日本語教育機関については、令和6年度に質の担保された日本語教育機関を文部科学大臣が認定する「日本語教育機関認定制度」を創設したところであり、同制度の円滑な施行や在籍管理の徹底等を通じて、引き続き日本語教育の充実に取り組んでまいります。

外国人留学生在籍状況調査等については、下記ホームページにて公表しています。

学生支援に関する各種調査(※独立行政法人日本学生支援機構ホームページヘルシク)

(より詳細なグラフなどのデータは、同時に公表されるこちらのホームページをご参照ください。)

「日本人の海外留学者数」及び「外国人留学生在籍状況調査」を公表します(令和7年度)

(PDF:637KB)

過去の調査結果

「外国人留学生在籍状況調査」及び「日本人の海外留学者数」等について(令和6年度)

(PDF:613KB)

「外国人留学生在籍状況調査」及び「日本人の海外留学者数」等について(令和5年度)

(PDF:916KB)

お問合せ先

高等教育局参事官(国際担当)付留学生交流室

PDF形式のファイルを御覧いただく場合には、Adobe Acrobat Readerが必要な場合があります。

Adobe Acrobat Readerは開発元のWebページにて、無償でダウンロード可能です。

(高等教育参事官(国際担当)付留学生交流室)

ページの先頭に戻る

文部科学省ホームページトップへ



令和8年5月29日

「日本人学生の海外留学状況」及び「外国人留学生の在籍状況」を 公表します

(独) 日本学生支援機構では、毎年、日本人学生の海外留学状況や外国人留学生の在籍状況の調査を行っており、最新の調査結果が取りまとめられましたので、お知らせします。また、文部科学省においてユネスコ統計局等による統計をもとに、日本人の海外留学者数を集計して、最新の状況を取りまとめましたので併せて公表します。

1. 日本人の海外留学者数

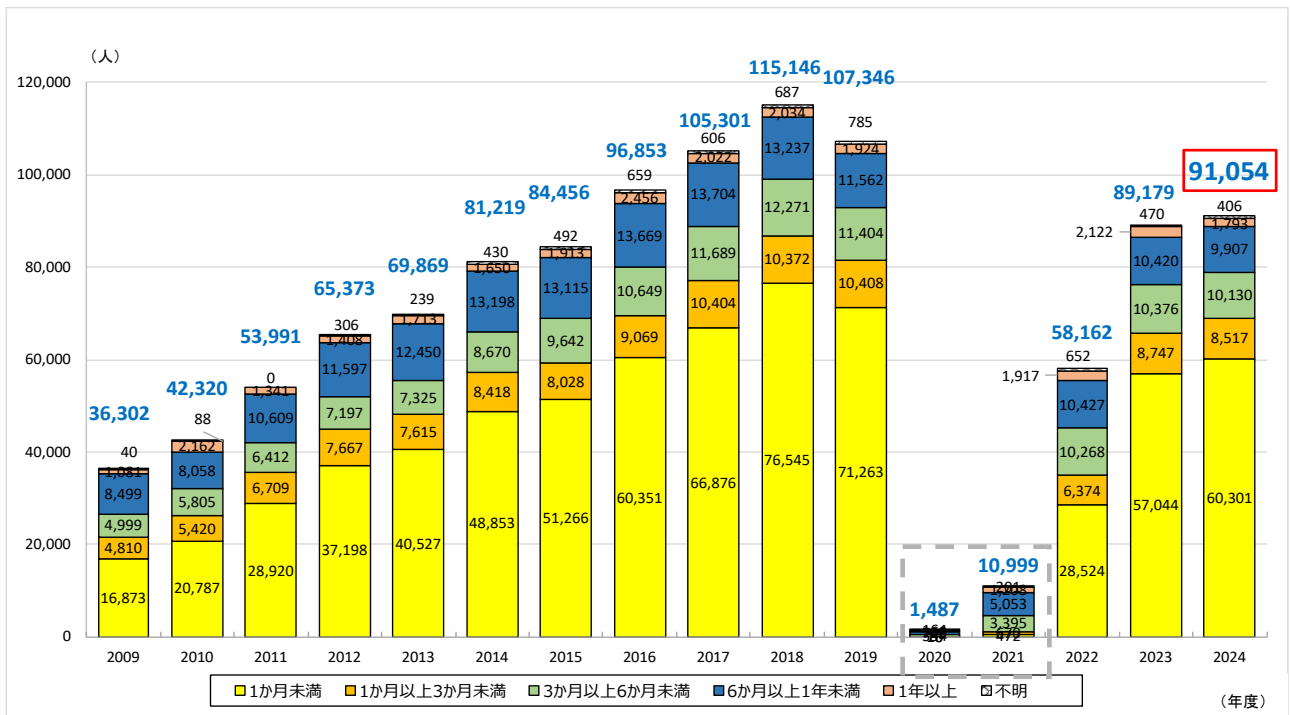
(1) 日本の大学等が把握する日本人留学者数（大学間交流協定等に基づく主に中短期の留学）〔(独) 日本学生支援機構による調査〕

(独) 日本学生支援機構が実施している「日本人学生留学状況調査」によると、大学等が把握している日本人学生の海外留学者数は、2024（令和6）年度で 91,054 人（対前年度比 1,875 人（2.1%）増）となり、前年度から増加しているものの増加率は鈍化しています。（図1（1）－①：留学期間別での留学者数の推移）

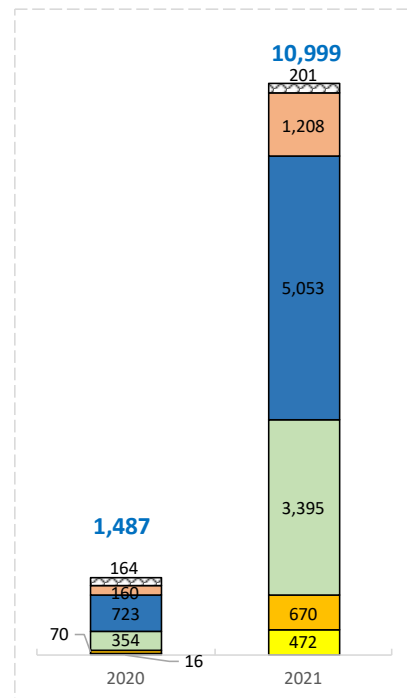
その中で、留学期間別に見ると、1か月未満の短期留学は 60,301 人（対前年度比 3,257 人（5.7%）増）であり前年度から増加していますが、それ以外の期間別留学者数は減少しています。

留学者数の多い国・地域は、アメリカ合衆国 12,627 人（対前年度比 890 人（6.6%）減）、オーストラリア 9,329 人（対前年度比 166 人（1.8%）増）、韓国 8,360 人（対前年度比 24 人（0.3%）減）でした。また、地域別で見た場合、アジア諸国への留学者数が最も多く、36,904 人（対前年度比 2,401 人（7.0%）増）となり、北米への留学者数は 19,363 人（対前年度比 1,775 人（8.4%）減）となりました。（表1（1）－②：主な留学先・留学者数）

■ 図 1 (1) - ① : 留学期間別での留学者数の推移



2020 年度、2021 年度の拡大図



■表 1 (1) -②：主な留学先・留学者数

No.	国・地域	留学者数		前年度比増減	
		2024 年度	2023 年度	人数	増減率
1	アメリカ合衆国	12,627	13,517	△890	△6.6%
2	オーストラリア	9,329	9,163	166	1.8%
3	韓国	8,360	8,384	△24	△0.3%
4	カナダ	6,736	7,621	△885	△11.6%
5	英国	5,381	5,037	344	6.8%
6	台湾	5,260	5,048	212	4.2%
7	タイ	4,789	4,396	393	8.9%
8	フィリピン	3,697	3,200	497	15.5%
9	中国	3,615	3,133	482	15.4%
10	マレーシア	3,064	2,712	352	13.0%
-	その他	28,196	26,968	1,228	4.6%
	合計	91,054	89,179	1,875	2.1%

(出典及び留学生の定義) (独) 日本学生支援機構(JASSO)「日本人学生留学状況調査」

対象は、日本国内の高等教育機関に在籍する学生等で、日本国内の大学等と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づき、教育又は研究を目的として、海外の大学等で留学を開始した者及び、在籍学校において把握している限りにおいて、協定に基づかない留学をした者。短期の交換留学等も含む。

JASSO HP: <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/japanese-students/>

(2) 海外の機関が把握する日本人留学者数（主に長期の留学）〔ユネスコ統計局等による統計〕

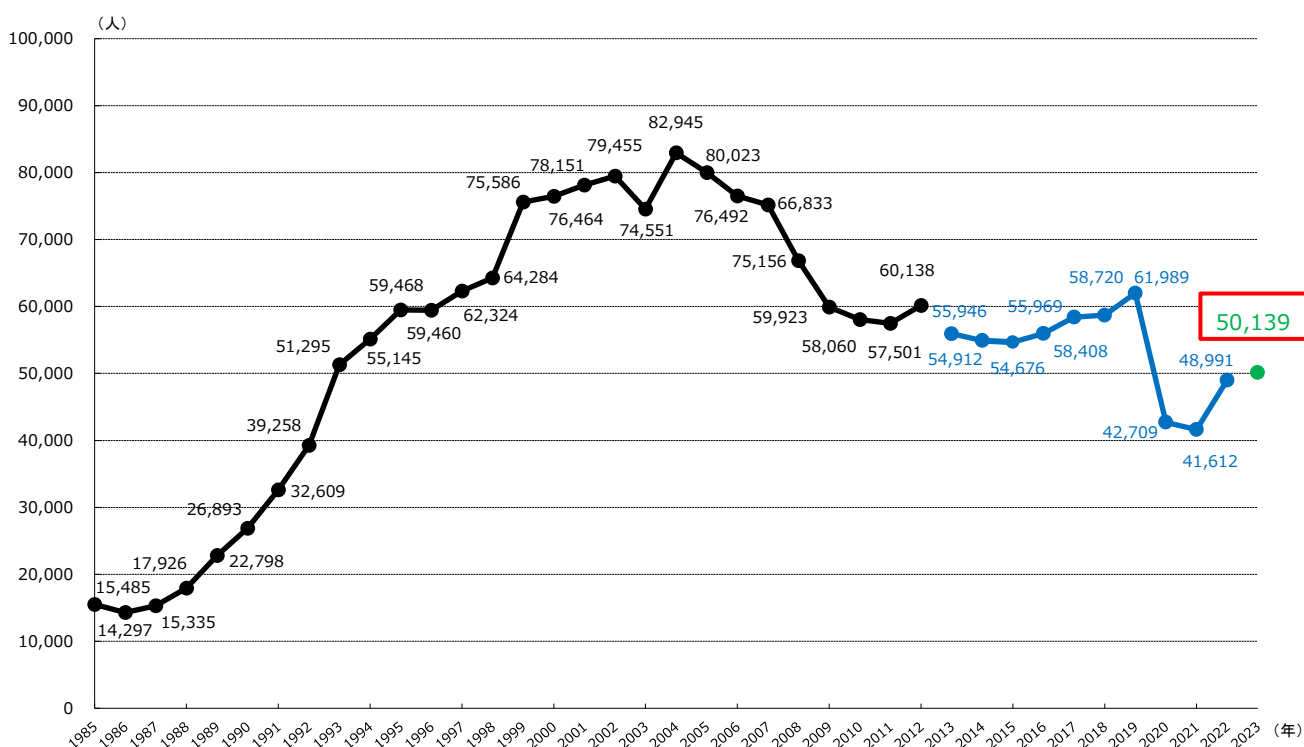
ユネスコ、米国国際教育研究所(IIE)等の 2023（令和5）年統計をもとに、海外の機関が把握している、日本人の海外留学者数（主に長期留学）を文部科学省が集計したところ、50,139人（対前年度比1,148人（2.3%）増）となりました。（図1（2）－①：留学者数の推移）

留学者数の多い国・地域は、アメリカ合衆国13,959人（対前年度比2,095人（13.0%）減）、台湾9,888人（対前年度比2,565人（35.0%）増）、中国6,140人（対前年度比938人（13.3%）減）でした。前年度に引き続き、アメリカ合衆国、英国、オーストラリア等の英語圏や、東アジア圏への留学者数が上位となっています。（表1（2）－②：主な留学先・留学者数）

（注）国・地域については、ユネスコ統計局による統計や Institute of International Education (IIE) 「Open Doors」等、各国等が発表している数値をもとにしており、調査時点や調査対象は、国・地域によって異なります。

また、受入れ国の特定の日または特定の期間の在学者情報から収集したものであり、留学期間が1年に満たない学生や在学を必要としない交換留学プログラムに参加する学生で計上されていない者がいることに留意。

■ 図1（2）－①：留学者数の推移



※2012年統計までは、外国人学生（受入れ国の国籍を持たない学生）が対象だったが、2013年統計より、高等教育機関に在籍する外国人留学生（勉学を目的として前居住地・出身国から他の国に移り住んだ学生）が対象となったため、比較ができなくなっている。

※2022年統計までは OECD 統計を出典に含め留学者数を集計していたが、2023年統計から OECD 加盟国における 国別留学生数が非公表扱いに変更されたため、出典とはしていない。

■表 1 (2) -②：主な留学先・留学者数

(単位：人)

No.	国・地域	留学者数		前年度比増減	
		2023 年	2022 年	人数	増減率
1	アメリカ合衆国	13,959	16,054	△2,095	△13.0%
2	台湾	9,888	7,323	2,565	35.0%
3	中国	6,140	7,078	△938	△13.3%
4	英国	2,965	2,957	8	0.3%
5	オーストラリア	2,909	2,680	229	8.5%
6	韓国	2,484	2,244	240	10.7%
7	ドイツ	2,175	1,819	356	19.6%
8	カナダ	1,890	1,734	156	9.0%
9	ブラジル	1,579	1,428	151	10.6%
10	フランス	1,081	904	177	19.6%
-	その他	5,069	4,770	299	6.3%
	合計	50,139	48,991	1,148	2.3%

(出典及び留学生の定義)

※複数の統計の数値を合算しており、統計により、対象となる「留学生」や「高等教育機関」の定義が異なる場合がある。

・ユネスコ統計局

高等教育機関に在籍する留学生（教育活動に参加する目的で国境を越えた学生）が対象。フルタイムもしくは少なくとも1学期の教育プログラムの在籍学生のデータを用いている（ただし、例外として、少なくとも3か月以上1学年未満の交換留学プログラム（又は短期派遣）の学生は基本的に含まれない）。

・IIE「Open Doors」

米国の高等教育機関に在籍している、米国民（永住権を有する者を含む）等以外の者。

・中国教育部

学生ビザ（Xビザ《留学期間が180日以上》）又は訪問ビザ（滞在180日未満）等で中国の大学に在学している者。

・台湾教育部

台湾の高等教育機関に在籍している者（短期留学生を含む）。

・インドネシア教育文化研究技術省

高等教育機関に在籍している、学位取得プログラムを履修する者。

・タイ高等教育・科学技術・イノベーション省

留学査証にて、高等教育機関に在籍している外国人学生

・OECD「Education at a Glance」（2022年度統計まで）

高等教育機関に在籍する留学生（勉学を目的として前居住国・出身国から他の国に移り住んだ学生）が対象。教育プログラムの正規在学生のデータを用いている（ただし、通常3か月（または1学期）から1学年未満の期間続き、自国の教育機関で単位が取得される交換留学プログラム（又は短期派遣）の学生は基本的に含まれない）。

2. 外国人留学生数

(独) 日本学生支援機構が実施している「外国人留学生在籍状況調査」によると、2025（令和7）年5月1日現在の外国人留学生数は408,069人（対前年度比71,361人（21.2%）増）となり、前年度に引き続き過去最大となりました。（図2-1：外国人留学生数の推移）

在学段階別に見ると、すべての学校種において外国人留学生数が増加しているところ、特に専修学校（専門課程）と日本語教育機関において大幅に増加しました。（表2-2：在学段階別留学生数）

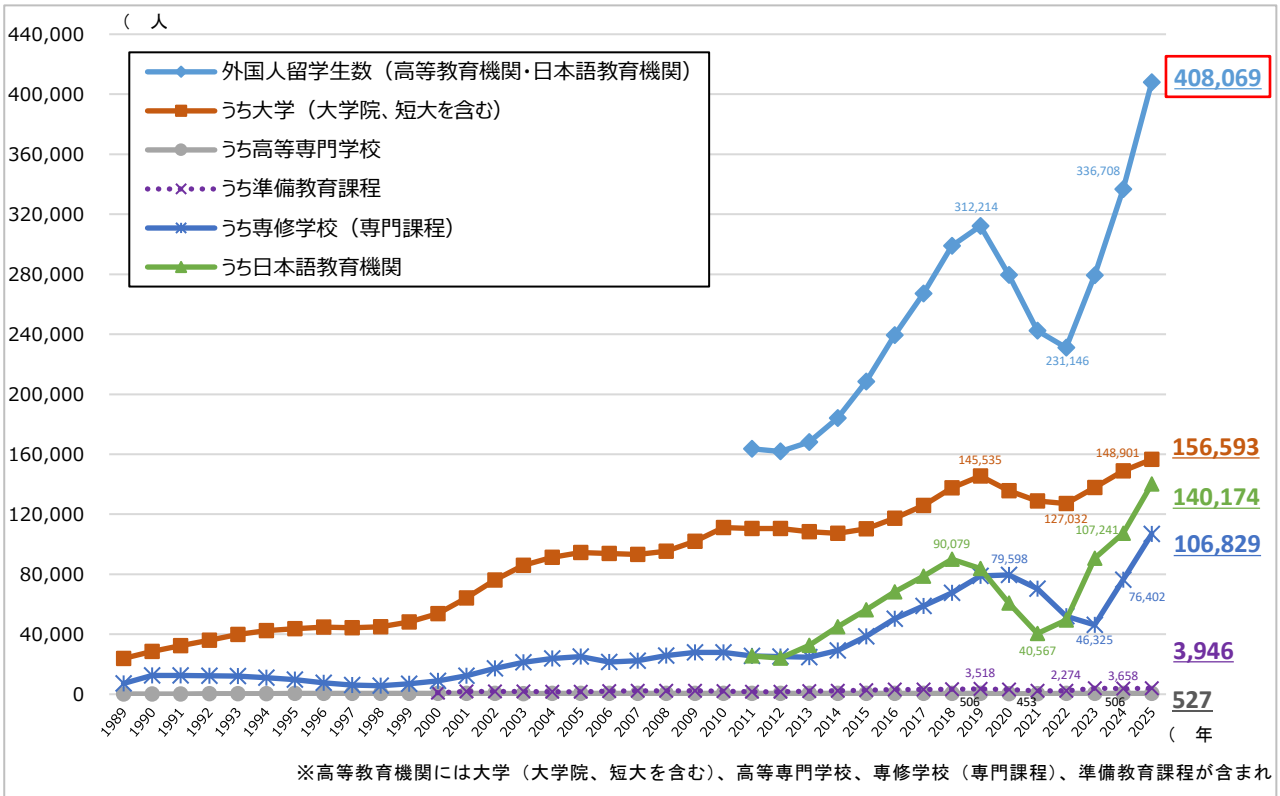
- ・大学（大学院、短大を含む）は156,593人（対前年度比7,692人（5.2%）増）
- ・高等専門学校は527人（対前年度比21人（4.2%）増）
- ・準備教育課程は3,946人（対前年度比288人（7.9%）増）
- ・専修学校（専門課程）は106,829人（対前年度比30,427人（39.8%）増）
- ・日本語教育機関は140,174人（対前年度比32,933人（30.7%）増）

主な出身国（地域）別に見ると、中国131,097人（対前年度比7,612人（6.2%）増）、ネパール100,239人（対前年度比35,423人（54.7%）増）、ベトナム43,366人（対前年度比3,043人（7.5%）増）となっており、特に南西アジア圏（ネパール、ミャンマー、スリランカ、バングラデシュ）からの受入れ数が大幅な増加となりました。（表2-3：主な出身国（地域）別留学生数）

文部科学省としては、大学（大学院、短大を含む）及び高等専門学校における外国人留学生の受入れについては、経済安全保障の観点に留意した上で、G7やASEAN等の重点地域からの誘致等に取り組むとともに、今後、我が国の大学の国際競争力の強化を行いつつ、在籍管理の一層の徹底等を通じて「質の向上」を図る視点を重視し、多様で優秀な留学生の確保に努めてまいります。

また、専修学校（専門課程）における外国人留学生の急増にも適切に対応できるよう、所轄庁である都道府県と連携し、教育の質の向上や在籍管理のより一層の徹底など、必要な取組を行ってまいります。日本語教育機関については、令和6年度に質の担保された日本語教育機関を文部科学大臣が認定する「日本語教育機関認定制度」を創設したところであり、同制度の円滑な施行や在籍管理の徹底等を通じて、引き続き日本語教育の充実に取り組んでまいります。

■図 2 - 1 : 外国人留学生数の推移



■表 2 - 2 : 在学段階別留学生数

(各年 5 月 1 日現在)

		留学生数		前年度比増減	
		2025 年	2024 年	人数	増減率
大学	博士課程	20,677	20,015	662	3.3%
	修士課程 (専門職学位課程含む)	33,902	32,793	1,109	3.4%
	大学院非正規	5,434	5,407	27	0.5%
	学部・短大 (専門職大学・短大含む)	76,853	70,912	5,941	8.4%
	学部・短大非正規 (専門職大学・短大含む)	19,727	19,774	△47	△0.2%
大学 計		156,593	148,901	7,692	5.2%
高等専門学校		527	506	21	4.2%
専修学校 (専門課程)		106,829	76,402	30,427	39.8%
準備教育課程		3,946	3,658	288	7.9%
高等教育機関 計		267,895	229,467	38,428	16.7%
日本語教育機関		140,174	107,241	32,933	30.7%
総計		408,069	336,708	71,361	21.2%

■表 2-3 : 主な出身国（地域）別留学生数

(各年5月1日現在)

No.	国・地域	留学生数		前年比増減	
		2025年	2024年	人数	増減率
1	中国	131,097	123,485	7,612	6.2%
2	ネパール	100,239	64,816	35,423	54.7%
3	ベトナム	43,366	40,323	3,043	7.5%
4	ミャンマー	29,413	16,596	12,817	77.2%
5	スリランカ	17,626	12,269	5,357	43.7%
6	韓国	14,612	14,579	33	0.2%
7	バングラデシュ	11,392	7,597	3,795	50.0%
8	台湾	7,989	7,655	334	4.4%
9	インドネシア	7,032	6,778	254	3.7%
10	アメリカ	4,579	3,918	661	16.9%
-	その他	40,724	38,692	2,032	5.3%
	合計	408,069	336,708	71,361	21.2%

(出典及び留学生の定義) (独) 日本学生支援機構(JASSO)「外国人留学生在籍状況調査」

本調査の対象は、各年5月1日時点において、在留資格「留学」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)、我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設及び日本語教育機関に在籍している外国人学生をいう。

JASSO HP : <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/enrollment/>

※高等教育機関には、大学(大学院、短大を含む)、高等専門学校、専修学校(専門課程)、準備教育課程が含まれる。

※準備教育課程とは、中等教育の課程の修了までに12年を要しない国の学生に対し、我が国の大学入学資格を与えるために文部科学大臣が指定した課程をいう。

<担当連絡先>

高等教育局参事官(国際担当) 付留学生交流室
政策調査係 電話 : 03-5253-4111 (代表)
(内線 3360、2518)



令和7年4月30日

「日本人学生の海外留学状況」及び「外国人留学生の在籍状況」を 公表します

(独) 日本学生支援機構では、毎年、日本人学生の海外留学状況や外国人留学生の在籍状況の調査を行っており、最新の調査結果が取りまとめられましたので、お知らせします。また、文部科学省において OECD 等による統計をもとに、日本人学生の海外留学者を集計して、最新の状況を取りまとめましたので併せて公表します。

1. 日本人学生の海外留学者数

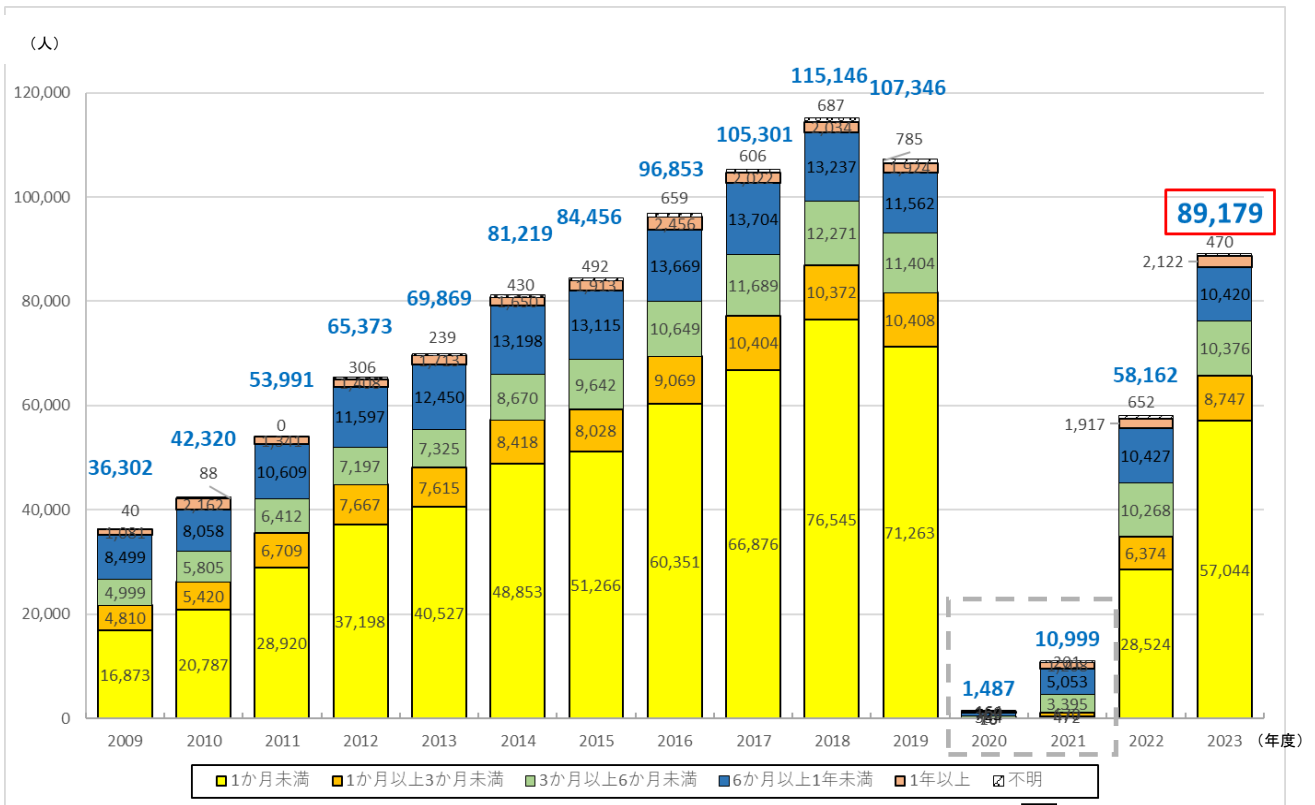
(1) 日本の大学等が把握する日本人留学者数（大学間交流協定に基づく留学等）〔(独) 日本学生支援機構による調査〕

(独) 日本学生支援機構が実施している「日本人学生留学状況調査」によると、大学等が把握している日本人学生の海外留学者数は、2023（令和5）年度で 89,179 人（対前年度比 31,017 人（53.3%）増）となり、入国制限が緩和され始めた 2021 年（令和3年）以降、大幅な回復傾向にあります。

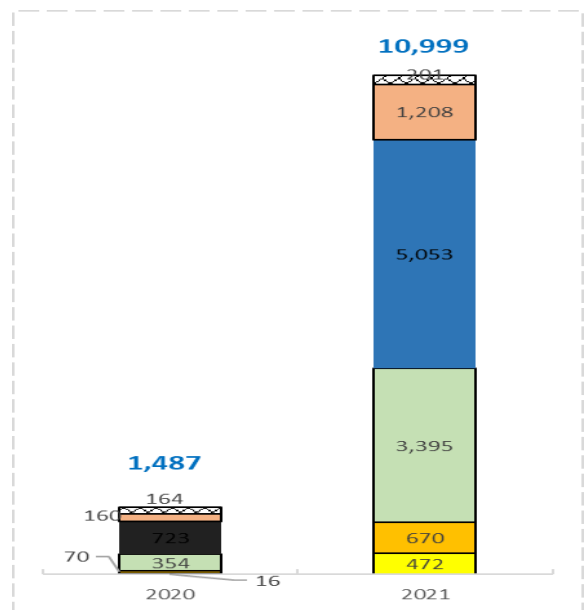
その中で、1か月未満の短期留学が大幅な増加をしており、対前年度比で約 100%増加しています。

留学者数の多い国・地域は、アメリカ合衆国 13,517 人（対前年度比 13.8%増）、オーストラリア 9,163 人（対前年度比 48.1%増）、韓国 8,384 人（対前年度比 79.2%増）でした。地域別で見た場合、アジア諸国への留学者数が、対前年度比で約 110%増加しています。

① 留学期間別での留学者数の推移



2020年度、2021年度の拡大図



②主な留学先・留学者数

No.	国・地域	留学者数		前年度比増減	
		2023年度	2022年度	人数	増減率
1	アメリカ合衆国	13,517	11,880	1,637	13.8%
2	オーストラリア	9,163	6,187	2,976	48.1%
3	韓国	8,384	4,679	3,705	79.2%
4	カナダ	7,621	6,735	886	13.2%
5	台湾	5,048	1,793	3,255	181.5%
6	英国	5,037	3,425	1,612	47.1%
7	タイ	4,396	2,529	1,867	73.8%
8	フィリピン	3,200	1,620	1,580	97.5%
9	中国	3,133	417	2,716	651.3%
10	フランス	3,022	1,929	1,093	56.7%
-	その他	26,658	16,968	9,690	57.1%
	合計	89,179	58,162	31,017	53.3%

(出典及び留学生の定義) (独) 日本学生支援機構(JASSO)「日本人学生留学状況調査」

対象は、日本国内の高等教育機関に在籍する学生等で、日本国内の大学等と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づき、教育又は研究を目的として、海外の大学等で留学を開始した者及び、在籍学校において把握している限りにおいて、協定に基づかない留学をした者。短期の交換留学等も含む。

JASSO HP: <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/japanese-students/>

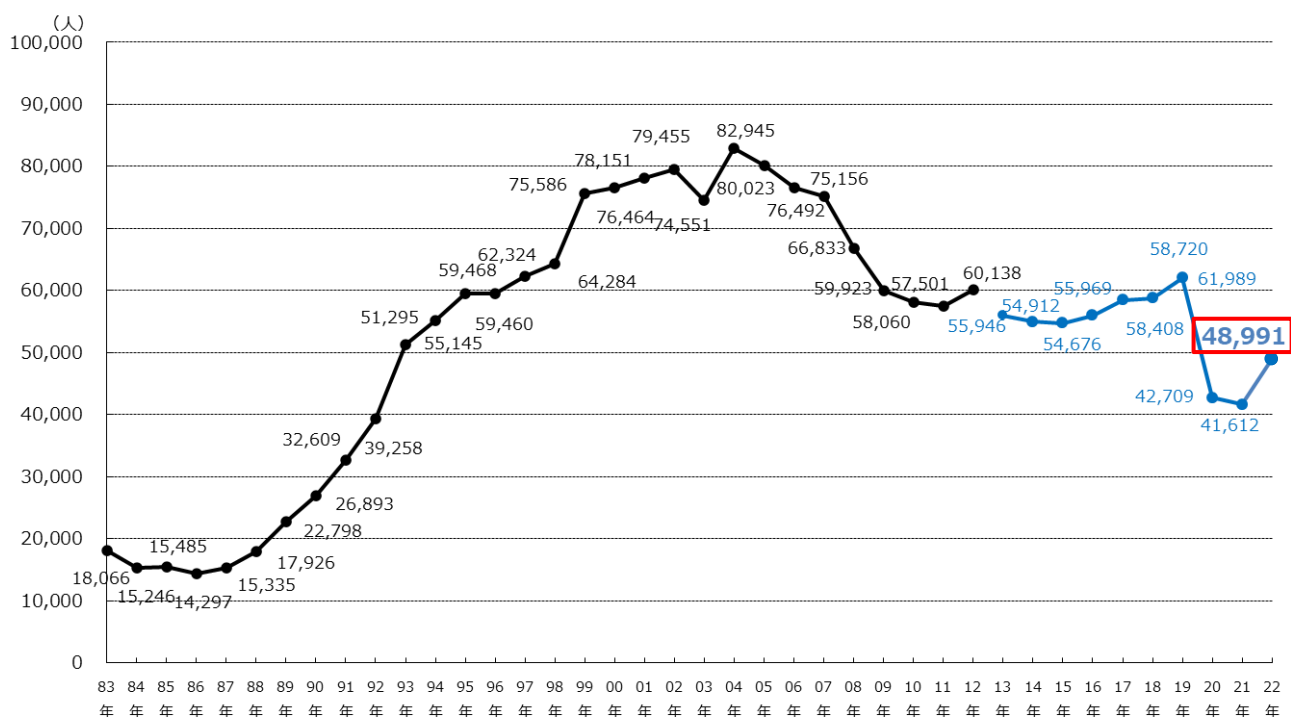
(2) 海外の機関が把握する日本人留学者数（主に長期留学） [OECD 等による統計]

OECD、ユネスコ、米国国際教育研究所(IIE)等の 2022（令和4）年統計 をもとに、海外の機関が把握している、日本人学生の海外留学者数（主に長期留学）を文部科学省が集計したところ、48,991 人（対前年比 7,379 人(17.7%)増）であり、留学者数の多い国・地域は、アメリカ合衆国 16,054 人（対前年比 2,605 人（19.4%）増）、台湾 7,323 人（対前年比 1,737 人（31.1%）増）、中国 7,078 人（対前年比 1,356 人（23.7%）増）でした。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、留学する学生数は回復傾向にあります。

(注) OECD 加盟国については、OECD が公表している「Education at a glance」、その他の国・地域については、ユネスコ統計局による統計や Institute of International Education (IIE) 「Open Doors」等、各国等が発表している数値をもとにしており、調査時点や調査対象は、国・地域によって異なります。

また、受入れ国の特定の日または特定の期間の在学者情報から収集したものであり、留学期間が1年に満たない学生や在学を必要としない交換留学プログラムに参加する学生で計上されていない者がいることに留意。

①留学者数の推移



※2012 年統計までは、外国人学生（受入れ国の国籍を持たない学生）が対象だったが、2013 年統計より、高等教育機関に在籍する外国人留学生（勉学を目的として前居住国・出身国から他の国に移り住んだ学生）が対象となったため、比較ができなくなっている。

②主な留学先・留学者数

(単位：人)

No.	国・地域	留学者数		前年比増減	
		2022年	2021年	人数	増減率
1	アメリカ合衆国	16,054	13,449	2,605	19.4%
2	台湾	7,323	5,586	1,737	31.1%
3	中国	7,078	5,722	1,356	23.7%
4	英国	2,957	2,646	311	11.8%
5	オーストラリア	2,680	2,441	239	9.8%
6	韓国	2,244	1,855	389	21.0%
7	ドイツ	1,819	1,616	203	12.6%
8	カナダ	1,734	1,737	△ 3	△ 0.2%
9	ブラジル	1,428	1,328	100	7.5%
10	フランス	904	906	△ 2	△ 0.2%
-	その他	4,770	4,326	444	10.3%
	合計	48,991	41,612	7,379	17.7%

(出典及び留学生の定義)

※複数の統計の数値を合算しており、統計により、対象となる「留学生」や「高等教育機関」の定義が異なる場合がある。

・OECD「Education at a Glance」

高等教育機関に在籍する留学生（勉学を目的として前居住国・出身国から他の国に移り住んだ学生）が対象。教育プログラムの正規在学生のデータを用いている（ただし、通常3か月（または1学期）から1学年未満の期間続き、自国の教育機関で単位が取得される交換留学プログラム（又は短期派遣）の学生は基本的に含まれない）。

・ユネスコ統計局

高等教育機関に在籍する留学生（教育活動に参加する目的で国境を越えた学生）が対象。フルタイムもしくは少なくとも1学期の教育プログラムの在籍学生のデータを用いている（ただし、例外として、少なくとも3か月以上1学年未満の交換留学プログラム（又は短期派遣）の学生は基本的に含まれない）。

・IIE「Open Doors」

米国の高等教育機関に在籍している、米国市民（永住権を有する者を含む）等以外の者。

・中国教育部

学生ビザ（Xビザ《留学期間が180日以上》）又は訪問ビザ（滞在180日未満）等で中国の大学に在学している者。

・台湾教育部

台湾の高等教育機関に在籍している者（短期留学生を含む）。

・インドネシア教育文化研究技術省

高等教育機関に在籍している、学位取得プログラムを履修する者。

・タイ高等教育・科学技術・イノベーション省

留学査証にて、高等教育機関に在籍している外国人学生

2. 外国人留学生数

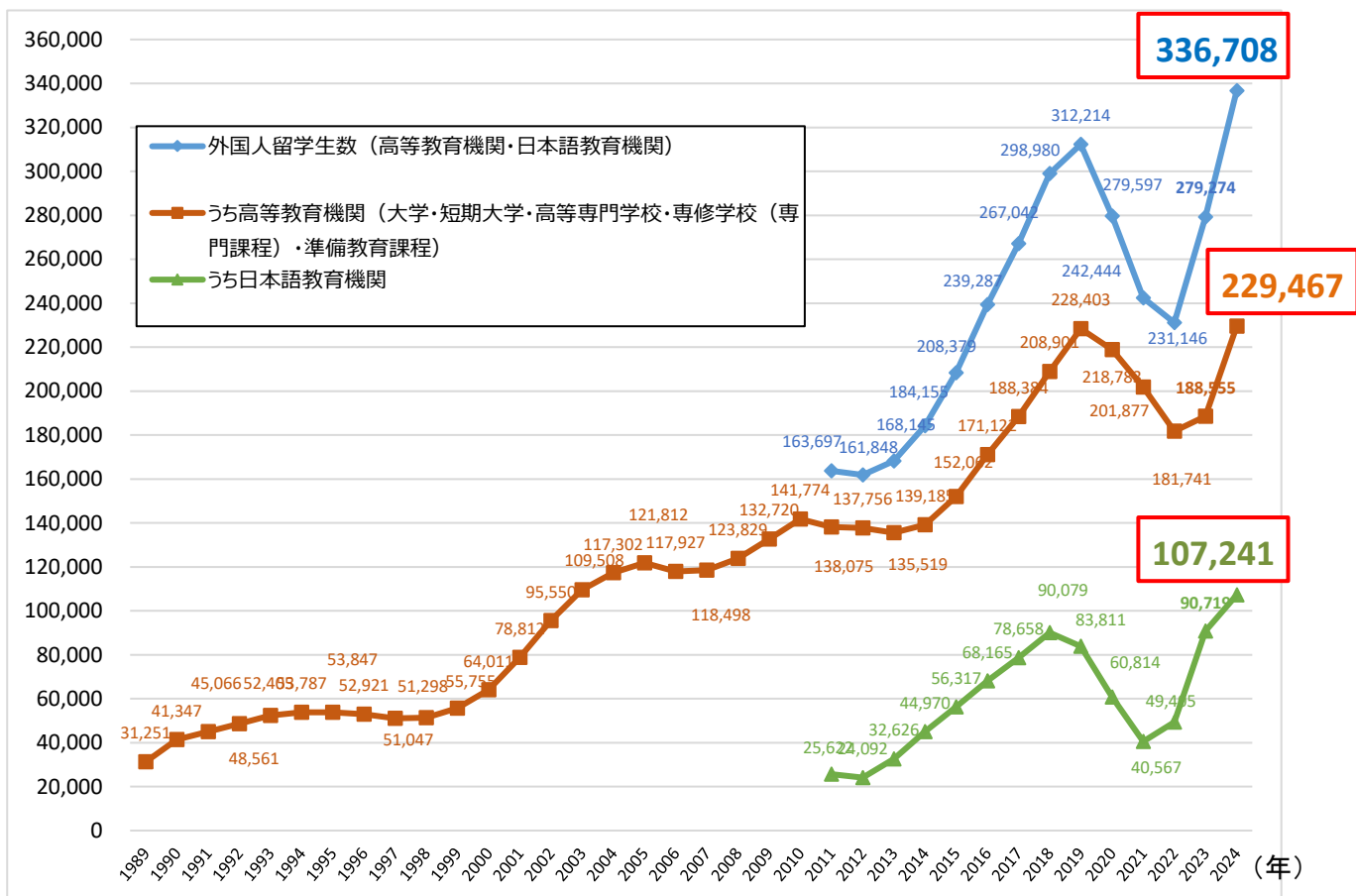
(独)日本学生支援機構が実施している「外国人留学生在籍状況調査」によると、2024(令和6)年5月1日現在の外国人留学生数は336,708人(対前年度比57,434人(20.6%)増)でした。外国人留学生数の多い国・地域は、中国123,485人(対前年度比6.9%増)、ネパール64,816人(対前年度比71.1%増)、ベトナム40,323人(対前年度比11.0%増)でした。

世界的にも外国人留学生数が増加している中で、日本においても、多様な国・地域からの外国人留学生を受け入れており、留学生総数は過去最多となりました。

在学段階別に見ると、高等教育機関については、準備教育課程を除く全ての学種において、外国人留学生数が増加しています。また、日本語教育機関については、日本語教育機関を対象とした調査を開始した2011年度以降過去最多となりました。

主な出身国(地域)別に見ると、特にアジア圏の国・地域で大幅な増加となりました。主な出身国(地域)のうち、ネパール、ミャンマー、スリランカ、バングラデシュ、インドネシア、モンゴルからの外国人留学生数については、コロナ禍前(2019年)を上回る在籍者数が計上されました。

図：外国人留学生数の推移(人)



主な出身国（地域）別留学生数

（各年5月1日現在）

No.	国・地域	留学生数		前年度比増減	
		2024年	2023年	人数	増減率
1	中国	123,485	115,493	7,992	6.9%
2	ネパール	64,816	37,878	26,938	71.1%
3	ベトナム	40,323	36,339	3,984	11.0%
4	ミャンマー	16,596	7,773	8,823	113.5%
5	韓国	14,579	14,946	△367	△2.5%
6	スリランカ	12,269	6,819	5,450	79.9%
7	台湾	7,655	6,998	657	9.4%
8	バングラデシュ	7,597	5,326	2,271	42.6%
9	インドネシア	6,778	6,552	226	3.4%
10	モンゴル	4,085	3,677	408	11.1%
-	その他	38,525	37,473	1,052	2.8%
	合計	336,708	279,274	57,434	20.6%

在学段階別留学生数

（各年5月1日現在）

		2024年 (人)	2023年 (人)	前年度比 (人)	前年度比 (%)
大学	博士課程	20,015	19,233	782	4.1%
	修士課程（専門職学位課程含む）	32,793	30,990	1,803	5.8%
	大学院非正規	5,407	5,316	91	1.7%
	学部・短大（専門職大学・短大含む）	70,912	65,319	5,593	8.6%
	学部・短大非正規（専門職大学・短大含む）	19,774	16,998	2,776	16.3%
大学計		148,901	137,856	11,045	8.0%
高等専門学校		506	501	5	1.0%
専修学校（専門課程）		76,402	46,325	30,077	64.9%
準備教育課程		3,658	3,873	△215	△5.6%
高等教育機関計		229,467	188,555	40,912	21.7%
日本語教育機関		107,241	90,719	16,522	18.2%
総計		336,708	279,274	57,434	20.6%

（出典及び留学生の定義）（独）日本学生支援機構（JASSO）「外国人留学生在籍状況調査」

本調査の対象は、各年5月1日時点において、在留資格「留学」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）、我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設及び日本語教育機関に在籍している外国人学生をいう。

JASSO HP : <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/enrollment/>

<担当>

高等教育局参事官（国際担当）付留学生交流室
政策調査係

電話：03-5253-4111（代表）

（内線 3360、2518）



令和6年5月24日

「外国人留学生在籍状況調査」及び「日本人の海外留学者数」等について

（独）日本学生支援機構では、毎年、外国人留学生の在籍状況や日本人学生の海外留学状況等の調査を行っており、最新の調査結果が取りまとめられましたので、お知らせします。また、文部科学省において OECD 等による統計をもとに、日本人の海外留学者数を集計して、最新の状況を取りまとめましたので併せて公表します。

1. 外国人留學生数

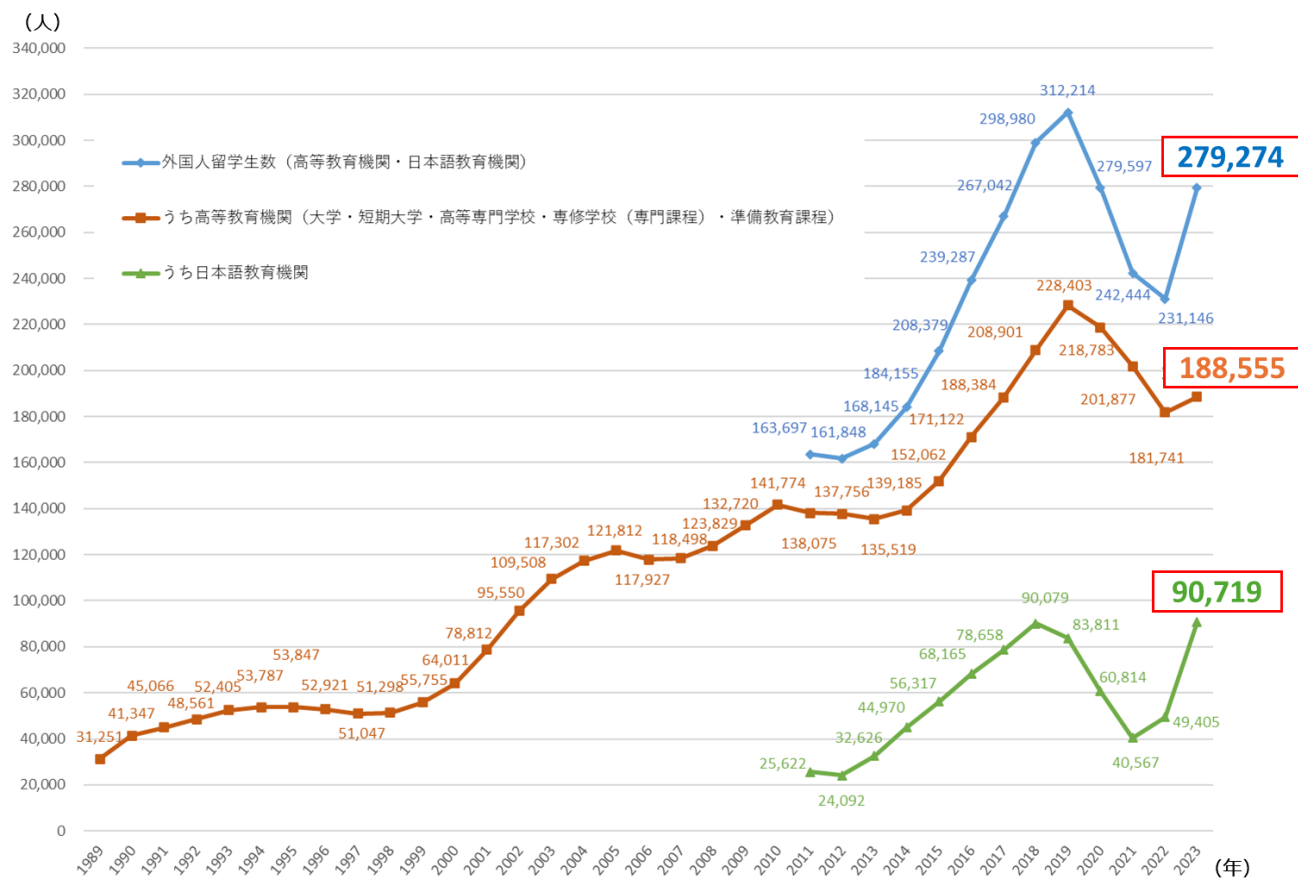
（独）日本学生支援機構が実施している「外国人留学生在籍状況調査」によると、2023（令和5）年5月1日現在の外国人留學生数は279,274人（対前年度比48,128人（20.8%増）でした。留學生数の多い国・地域は、中国115,493人（対前年度比11.2%増）、ネパール37,878人（対前年度比56.2%増）、ベトナム36,339人（対前年比2.8%減）でした。

2022年に入り、3月以降の水際対策の段階的緩和及び10月からの入国者数の上限撤廃により留學生の新規入国が進み、留學生総数はコロナ禍以降初めて増加しました。

在学段階別に見ると、高等教育機関については、国内からの進学者の割合が高い大学学部等（正規生）及び専修学校（専門課程）は、過年度の新型コロナウイルス感染症の影響が残り、前年に続き減少したものの、それ以外の学種では増加に転じました。また、日本語教育機関については、日本語教育機関を対象とした調査を開始した2011年度以降過去最多となりました。

出身地域別に見ると、概ね全ての地域で大幅な増加となりました。主な出身国のうち、ネパール、ミャンマー、バングラデシュ、アメリカ合衆国からの留學生については、コロナ禍前（2019年）を上回る在籍者数が計上されました。

図：外国人留学生数の推移



主な出身国（地域）別留学生数

(各年5月1日現在)

No.	国・地域	留学生数		前年比増減	
		2023年	2022年	人数	増減率
1	中国	115,493	103,882	11,611	11.2%
2	ネパール	37,878	24,257	13,621	56.2%
3	ベトナム	36,339	37,405	△ 1,066	△ 2.8%
4	韓国	14,946	13,701	1,245	9.1%
5	ミャンマー	7,773	3,813	3,960	103.9%
6	台湾	6,998	5,015	1,983	39.5%
7	スリランカ	6,819	3,857	2,962	76.8%
8	インドネシア	6,552	5,763	789	13.7%
9	バングラデシュ	5,326	3,313	2,013	60.8%
10	アメリカ合衆国	4,076	1,655	2,421	146.3%
-	その他	37,074	28,485	8,589	30.2%
	合計	279,274	231,146	48,128	20.8%

在学段階別留学生数

(各年5月1日現在)

		2023年 (人)	2022年 (人)	前年比 (人)	前年比 (%)
大学	博士課程	19,233	18,575	658	3.5
	修士課程(専門職学位課程含む)	30,990	30,299	691	2.3
	大学院非正規	5,316	4,248	1,068	25.1
	学部・短大(専門職大学・短大含む)	65,319	66,956	△1,637	△2.4
	学部・短大非正規(専門職大学・短大含む)	16,998	6,954	10,044	144.4
大学計		137,856	127,032	10,824	8.5
高等専門学校		501	480	21	4.4
専修学校(専門課程)		46,325	51,955	△5,630	△10.8
準備教育課程		3,873	2,274	1,599	70.3
高等教育機関計		188,555	181,741	6,814	3.7
日本語教育機関		90,719	49,405	41,314	83.6
総計		279,274	231,146	48,128	20.8

(出典及び留学生の定義)(独)日本学生支援機構(JASSO)「外国人留学生在籍状況調査」

本調査の対象は、各年5月1日時点において、在留資格「留学」により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)、我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設及び日本語教育機関に在籍している外国人学生をいう。

JASSO HP: <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/enrollment/>

2. 日本人の海外留学者数

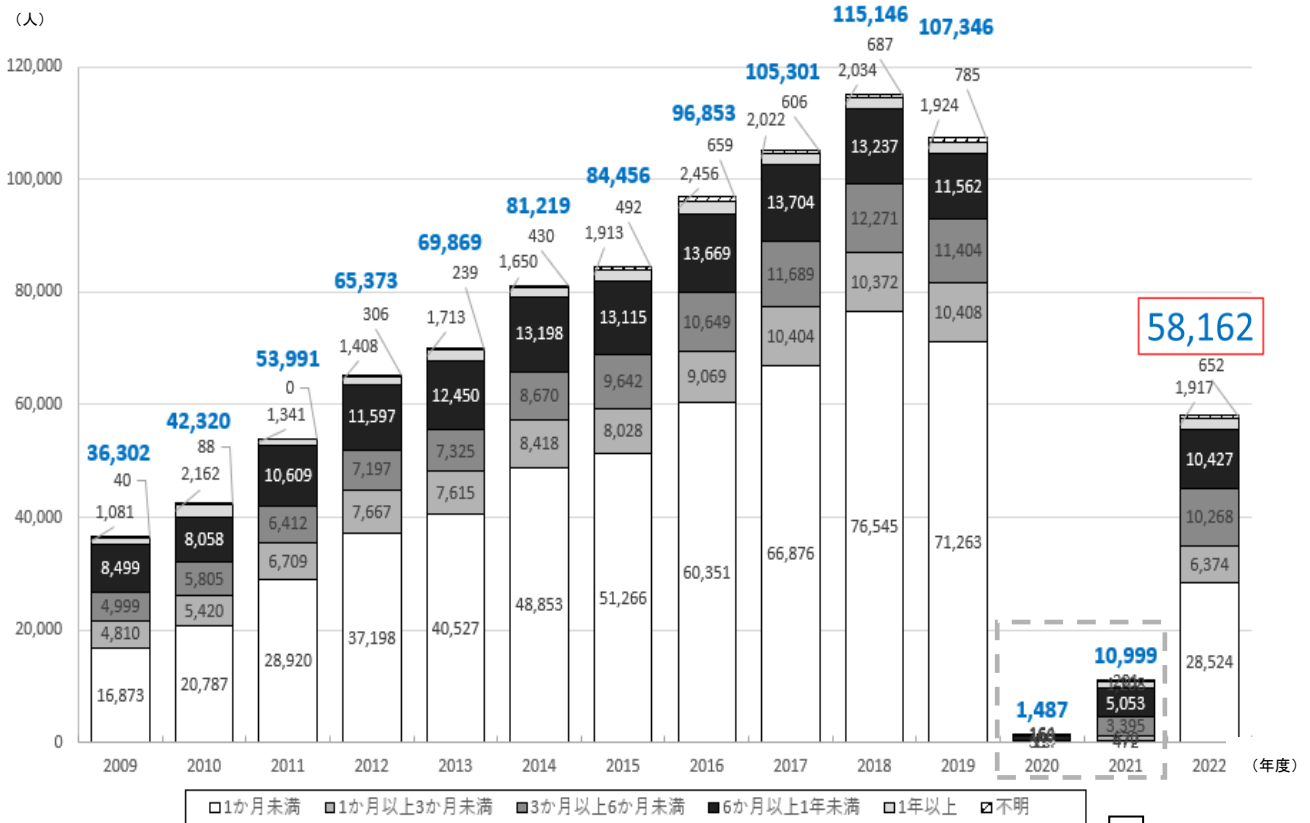
(1) 日本の大学等が把握する日本人留学者数(大学間交流協定に基づく留学等) [(独)日本学生支援機構による調査]

(独)日本学生支援機構が実施している「日本人学生留学状況調査」によると、大学等が把握している日本人学生の海外留学状況は、2022(令和4)年度で58,162人(対前年度比47,163人(428.8%)増)でした。引き続き増加(回復)しているものの、コロナ禍前の半数程度にとどまっています。

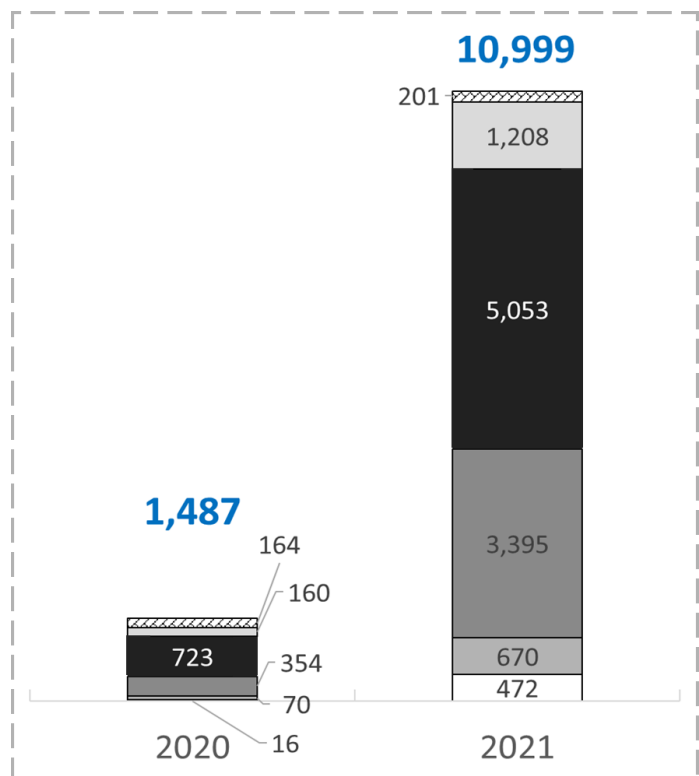
その中で、留学期間が3か月以上の中長期の留学者数については、コロナ禍前(2019年度)の数字の約90%となっています。

留学生数の多い国・地域は、アメリカ合衆国11,880人(対前年度比229.7%増)、カナダ6,735人(対前年度比466.4%増)、オーストラリア6,187人(対前年度比1839.5%増)でした。比較的早期に入国制限の緩和に動いた欧米諸国への留学が2021年度夏以降回復に向かいましたが、2022年度はアジア諸国についても入国制限が緩和され、留学生数の増加につながったと考えられます。

①留学期間別留学生数の推移



2020年度、2021年度の拡大図



②主な留学先・留学生数

No.	国・地域	留学生数		前年度比増減	
		2022年度	2021年度	人数	増減率
1	アメリカ合衆国	11,880	3,603	8,277	229.7%
2	カナダ	6,735	1,189	5,546	466.4%
3	オーストラリア	6,187	319	5,868	1839.5%
4	韓国	4,679	1,209	3,470	287.0%
5	イギリス	3,425	862	2,563	297.3%
6	タイ	2,529	86	2,443	2840.7%
7	フランス	1,929	531	1,398	263.3%
8	台湾	1,793	105	1,688	1607.6%
9	ドイツ	1,791	520	1,271	244.4%
10	フィリピン	1,620	7	1,613	23042.9%
-	その他	15,594	2,568	13,026	507.2%
	合計	58,162	10,999	47,163	428.8%

(出典及び留学生の定義) (独) 日本学生支援機構 (JASSO) 「日本人学生留学状況調査」
 対象は、日本国内の高等教育機関に在籍する学生等で、日本国内の大学等と諸外国の大学等との学生交流に関する協定等に基づき、教育又は研究を目的として、海外の大学等で留学を開始した者及び、在籍学校において把握している限りにおいて、協定に基づかない留学をした者。短期の交換留学等も含む。
 JASSO HP: <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/japanese-students/>

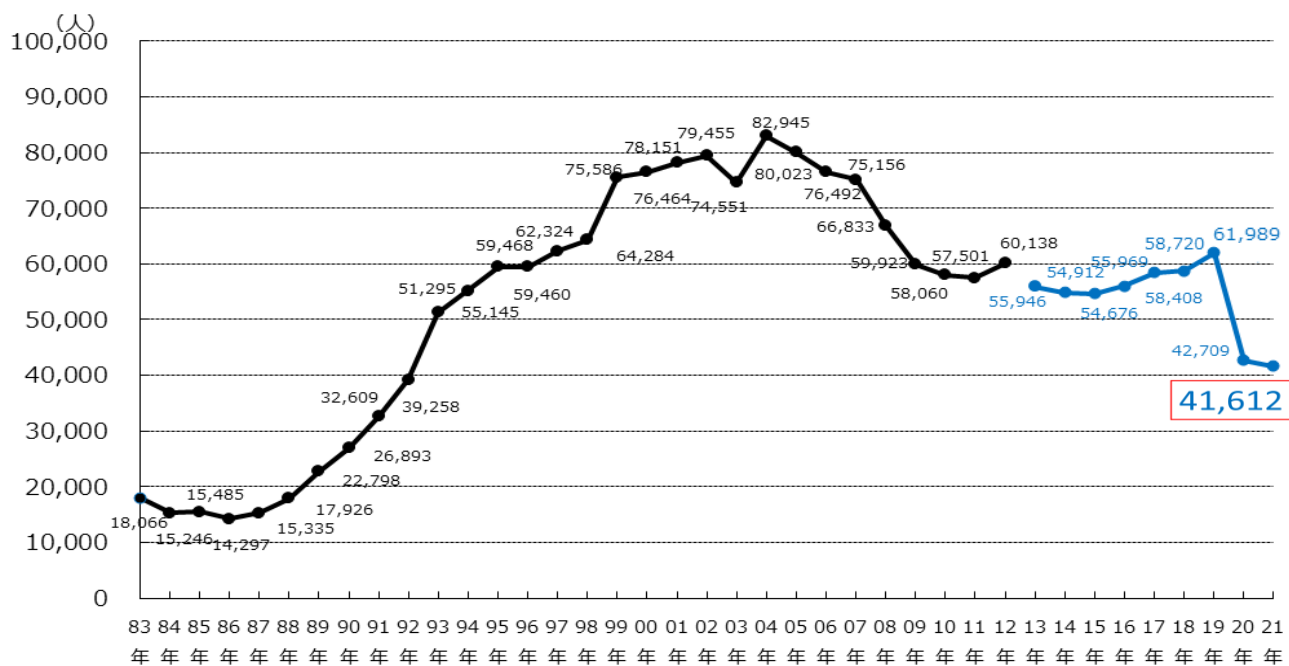
(2) 海外の機関が把握する日本人留学者数（主に長期留学） [OECD 等による統計]

OECD、ユネスコ、米国国際教育研究所(IIE)等の 2021（令和3）年統計 をもとに、海外の機関が把握している、日本人の海外留学者数（主に長期留学）を文部科学省が集計したところ、41,612 人（対前年比1,097 人(2.6%)減）であり、留学者数の多い国・地域は、アメリカ合衆国 13,449 人、中国 5,722 人、台湾 5,586 人でした。減少の理由としては、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響が続いたことが考えられます。

(注) OECD 加盟国については、OECD が公表している「Education at a glance」、その他の国・地域については、ユネスコ統計局による統計や Institute of International Education (IIE) 「Open Doors」等、各国等が発表している数値をもとにしており、調査時点や調査対象は、国・地域によって異なります。

また、受入れ国の特定の日または特定の期間の在学者情報から収集したものであり、留学期間が1年に満たない学生や在学を必要としない交換留学プログラムに参加する学生で計上されていない者がいることに留意。

① 留学者数の推移



※2012 年統計までは、外国人学生（受入れ国の国籍を持たない学生）が対象だったが、2013 年統計より、高等教育機関に在籍する外国人留学生（勉学を目的として前居住国・出身国から他の国に移り住んだ学生）が対象となったため、比較ができなくなっている。

②主な留学先・留学者数

No.	国・地域	留学者数		前年比増減	
		2021年	2020年	人数	増減率
1	アメリカ合衆国	13,449	11,785	1,664	14.1%
2	中国	5,722	7,346	△ 1,624	△ 22.1%
3	台湾	5,586	5,116	470	9.2%
4	イギリス	2,646	2,822	△ 176	△ 6.2%
5	オーストラリア	2,441	2,742	△ 301	△ 11.0%
6	韓国	1,855	1,778	77	4.3%
7	カナダ	1,737	1,845	△ 108	△ 5.9%
8	ドイツ	1,616	2,282	△ 666	△ 29.2%
9	ブラジル	1,328	1,449	△ 121	△ 8.4%
10	フランス	906	1,098	△ 192	△ 17.5%
-	その他	4,326	4,446	△ 120	△ 2.7%
	合計	41,612	42,709	△ 1,097	△ 2.6%

(出典及び留学生の定義)

※複数の統計の数値を合算しており、統計により、対象となる「留学生」や「高等教育機関」の定義が異なる場合がある。

・ OECD「Education at a Glance」

高等教育機関に在籍する留学生（勉学を目的として前居住国・出身国から他の国に移り住んだ学生）が対象。教育プログラムの正規在学生のデータを用いている（ただし、通常3か月（または1学期）から1学年未満の期間続き、自国の教育機関で単位が取得される交換留学プログラム（又は短期派遣）の学生は基本的に含まれない）。

・ ユネスコ統計局

高等教育機関に在籍する留学生（教育活動に参加する目的で国境を越えた学生）が対象。フルタイムもしくは少なくとも1学期の教育プログラムの在籍学生のデータを用いている（ただし、例外として、少なくとも3か月以上1学年未満の交換留学プログラム（又は短期派遣）の学生は基本的に含まれない）。

・ IIE「Open Doors」

米国の高等教育機関に在籍している、米国市民（永住権を有する者を含む）等以外の者。

・ 中国教育部

学生ビザ（Xビザ《留学期間が180日以上》）又は訪問ビザ（滞在180日未満）等で中国の大学に在学している者。

・ 台湾教育部

台湾の高等教育機関に在籍している者（短期留学生を含む）。

＜担当＞ 高等教育局参事官（国際担当）付留学生交流室
政策調査係 （内線 2518、3360）
電話：03-5253-4111（代表）